

ホームズ君の 絵でみるわが家の断熱診断書

日付: 2018年04月18日 11:58:24

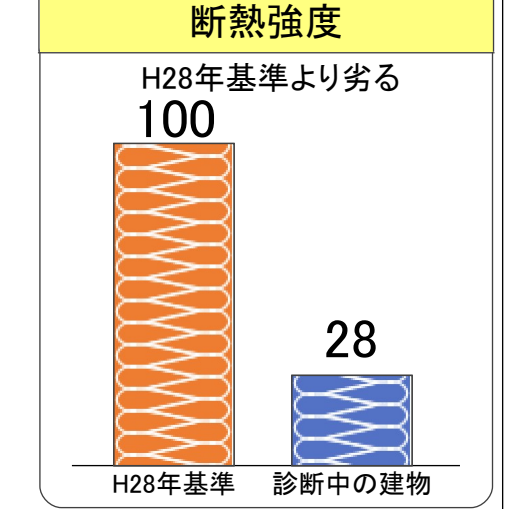
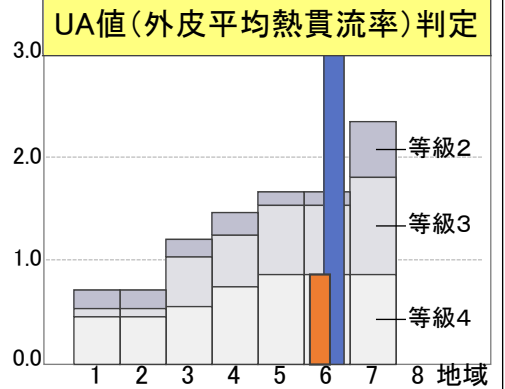
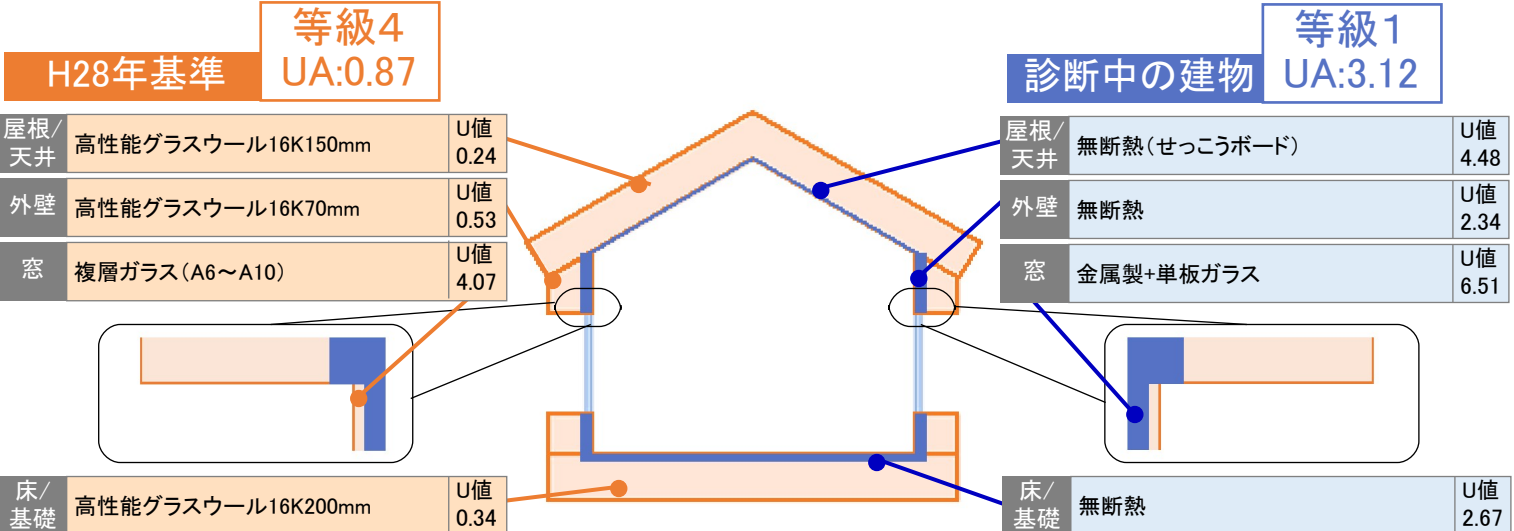
建物コード: 000000

建物名: 自立循環型住宅モデルプラン(リフォーム)

邸名	自立循環型住宅モデルプラン(リフォーム)(現状プラン)	床面積	120.08㎡ (1階: 67.90㎡、2階: 52.17㎡)
診断者		地域区分	6地域 (東京都-東京都)
建築地			

●断熱性能

- UA値(外皮平均熱貫流率): UA値(ユーエー値)とは床、外壁、屋根(天井)や開口部などを通過して外部に逃げる熱量を、外皮全体で平均した値で、熱損失の合計を外表面積の合計で除したものの値が小さいほど断熱性能、省エネルギー性能が高いことを示します。
- 断熱強度(熱の逃げにくさ): 本システムにおける独自の指標です。H28年基準における断熱性能(熱の逃げにくさ)を100とした場合の診断中の建物の断熱性能の値で、H28年基準のUA値を診断中の建物のUA値で除し100倍したものの値が100を下まわると、断熱性能はH28基準値より劣ると言えます。

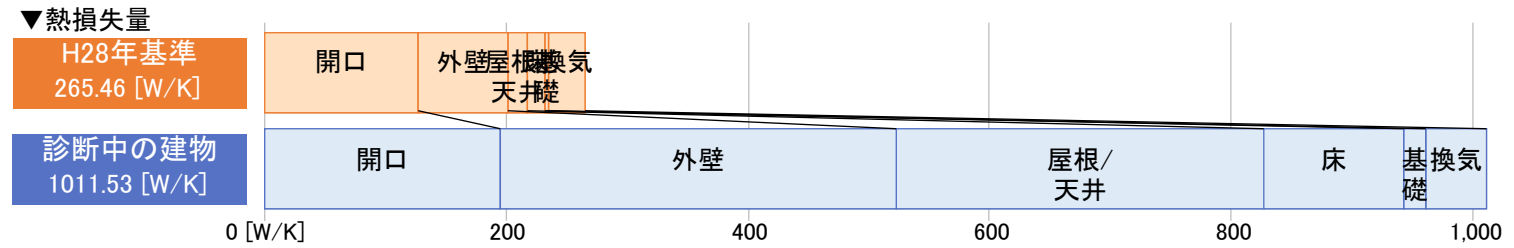
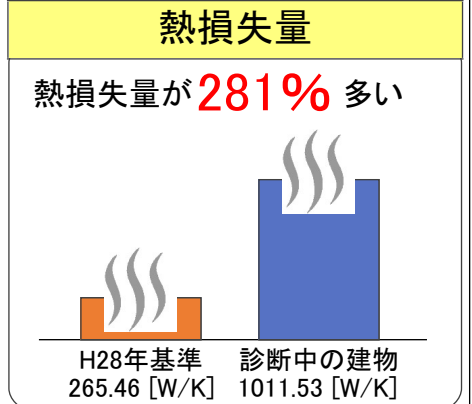
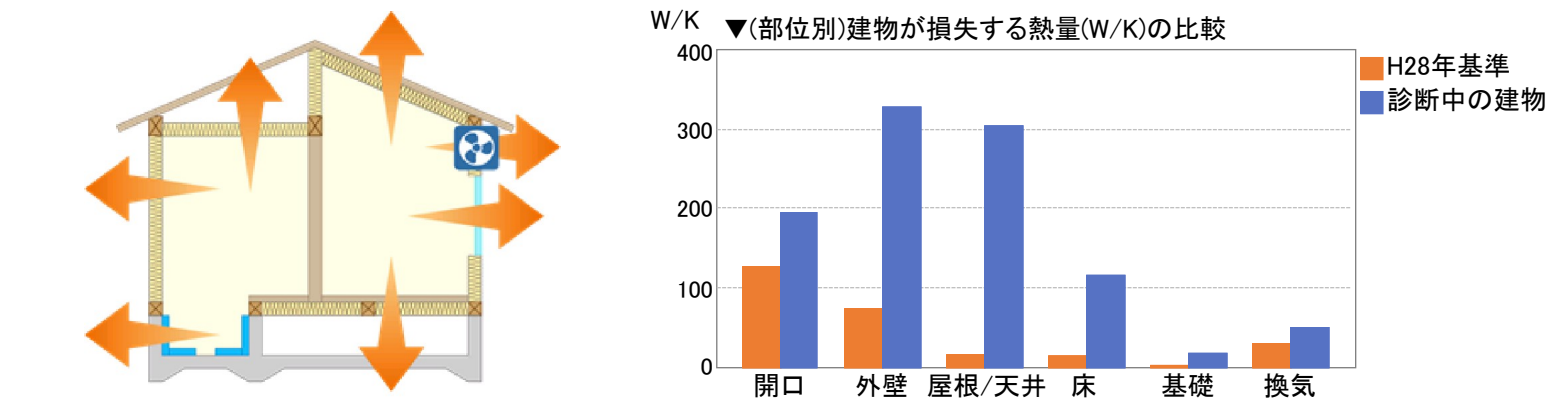


▼【参考】年代別の断熱性能

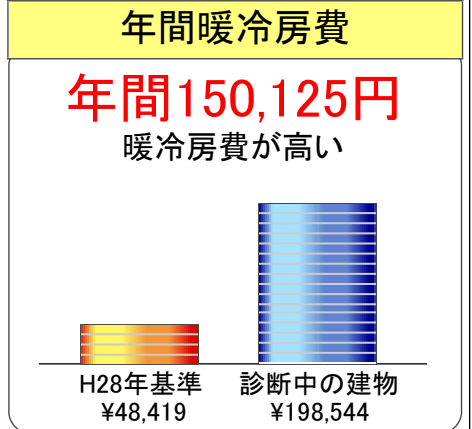
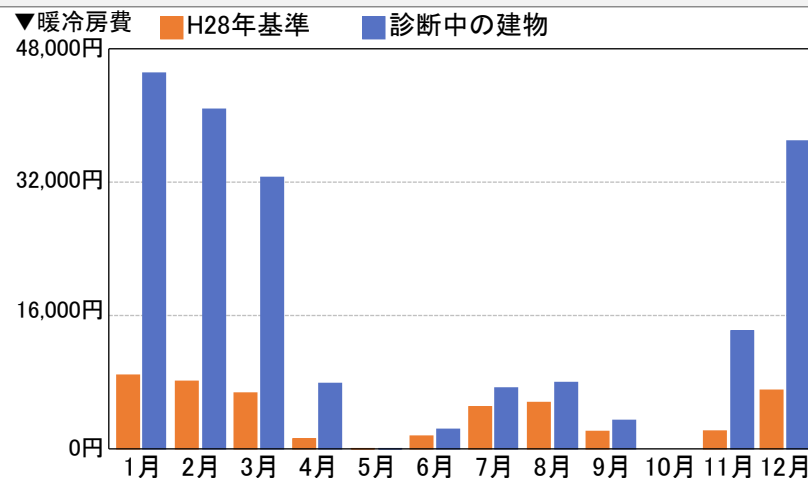
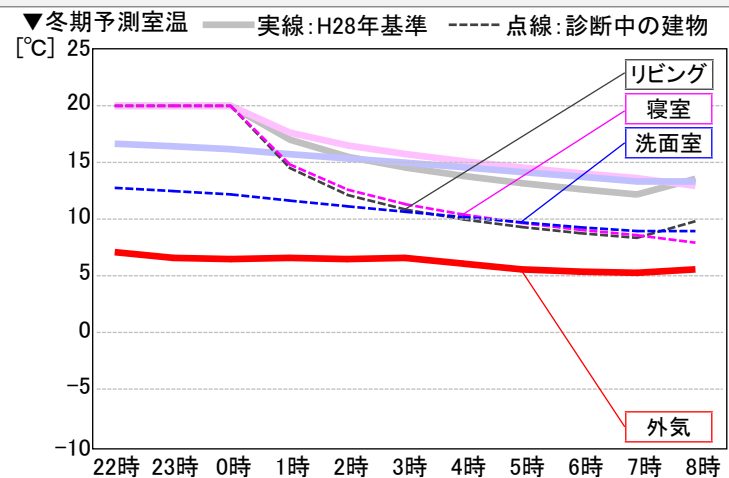
断熱等性能等級	-	等級2	等級3	等級4	等級4超
建築年代	昭和55年以前	昭和55年~平成4年	平成4年~平成11年	平成11年~	-
相当する省エネ基準 ※	基準なし	S55年基準	H4年基準	H28年基準	ZEH基準
UA値(W/mK)	-	1.67以下	1.54以下	0.87以下	0.60以下
断熱強度	29	52	56	100	145
イメージ					

※ 省エネ基準とは…昭和55年、平成4年、平成11年、平成28年に改正された省エネ法で示された改正当時の建物の断熱性能を示す基準

●建物から逃げる熱量(熱損失量)[W/K] ※屋根・天井・外壁・窓などから損失する熱量のこと。断熱性能が低いほど建物から逃げる熱量は多くなる。



●室温・年間暖冷房費 ※一次エネルギー消費量を元に算出した1年間にかかる暖冷房費。断熱性能が低いほど年間暖冷房費は大きくなる。



●平面図・断熱性能3Dパース

